

# 消毒薬を適切に使いましょう！

病気の発生を防ぐためには、飼養管理・衛生管理を徹底して、農場への病原体の侵入を防ぐことが大切です。目的に合った消毒薬を活用し、病気発生リスクを下げましょう！



## 消毒薬の種類と対象

		病原体の種類 (○：効果あり △：効果弱 ×：効果なし)					消毒対象 (○：適用 △：状況・消毒薬の種類により不適 ×：不適)				
		一般細菌	芽胞菌 (クロストリジウム属菌等)	ウイルス (膜有)	ウイルス (膜無)	コクシジウム	手指	踏込消毒	車両	敷地内	畜舎、設備 器具機材
消毒薬の種類 (製品名例)	逆性石鹼 (パコマ、アストップ、クリアキル)	○	×	△	×	×	○	○	○	△	○
	オルソ剤 (タナベンゾール、トライキル、ゼクトン)	○	×	△	×	○	×	○	×	×	○
	ヨウ素系 (クリンナップ、ヨードホール、ポビドンヨード)	○	△	○	△	×	○	△	×	×	△ (腐食性有)
	塩素系 (アンテックピルコンS、クレンテ)	○	△	○	○	×	△	△	△ (腐食性有)	△	△ (腐食性有)
	アルデヒド (ゲルタプラス、ヘルミン25)	○	△	○	○	×	×	○	○	○	○
	アルコール類	○	×	○	×	×	○	×	○ (車内)	×	○ (器具機材)
	消石灰 石灰乳	○	×	○	△	○ (物理的封込)	×	○	○ (タイヤ)	○	○

ウイルス（膜有）：豚熱ウイルス、アフリカ豚熱ウイルス、鳥インフルエンザウイルス、オーエスキー病ウイルス、PRRS、PED、BVDV、牛コロナウイルス、牛トロウイルス、牛RSウイルス、牛伝染性鼻気管炎ウイルス 等  
 ウイルス（膜無）：口蹄疫、牛アデノウイルス、牛ロタウイルス、豚サーコウイルス 等



### 消毒時のポイント

- (1) 消毒する前に泥や糞便などを落としましょう。
- (2) 種類の違う消毒薬を混ぜて使わないようにしましょう。  
 (効果が低下することがあります)  
 例：酸性で効果低下⇒消石灰、逆性石鹼、アルデヒド系  
 アルカリ性で効果低下⇒塩素系、ヨウ素系、オルソ剤など
- (3) 消毒薬が汚れた場合は直ちに交換しましょう。  
 (汚れていなくても定期的に交換・散布が必要です)
- (4) 用法・用量に従い、適切な濃度に希釈しましょう。



愛知県東部家畜保健衛生所	新城設楽支所
TEL：0532-45-1141	TEL：0536-22-0549
FAX：0532-48-8943	FAX：0536-23-4952